

インフルエンザにご注意を!



合併症や重症化の可能性がある方

- 65歳以上の高齢者
- 妊娠28週以上の妊婦
- 慢性肺疾患のある方
(肺気腫、気管支喘息等)
- 心疾患のある方
(心筋梗塞、心不全等)
- 腎疾患のある方
(慢性腎不全、血液透析等)
- 代謝異常(糖尿病等)



毎年、冬になると気温の低下や空気の乾燥によりインフルエンザが流行します。感染すると高熱や頭痛など様々な症状が起こります。特に妊婦や高齢者、持病のある方は合併症や重症化を引き起こす可能性が高くなるため、インフルエンザに感染しないよう注意する必要があります。

第47号

新城市民病院総務課
新城市字北畑32-1
Tel 0536-23-7852
Fax 0536-22-2850

※飛沫感染

感染者のくしゃみや咳によりウイルスを含んだ小粒子(飛沫)が飛び散り、吸い込んで感染する。

※接触感染

飛沫によってウイルスに汚染された物などに触れ、その手で目や口を触ると感染する。

※空気感染

飛沫の水分が蒸発してウイルスを含んだ微粒子となって、長い間空中に浮遊し、吸い込んで感染する。

風邪との違い



	インフルエンザ	かぜ
初期症状	発熱、頭痛、悪寒 倦怠感、筋肉痛、関節痛等の 全身症状	くしゃみ 咳 鼻炎症状
発熱	38度以上の高熱	微熱
感染経路	飛沫感染、接触感染、空気感染	接触感染
重症化 合併症	高齢者や妊婦等、条件により可能性が高くなる	可能性が低い

※咳エチケット

- 咳・くしゃみの際は、ティッシュやハンカチなどで口と鼻を押さえ、周りの人から顔をそむけて1m以上離れましょう。
- 使用したティッシュはすぐにゴミ箱に捨てましょう。
- 咳をしている人には、マスクの着用をお願いしましょう。

インフルエンザの予防法

- 予防接種の実施
- 外出時はマスクを使用
- 人ごみを避ける
- 加湿器などを使用し適度な湿度(50~60%)を保つ
- うがい、手洗い、マスク
- 咳エチケットの実践



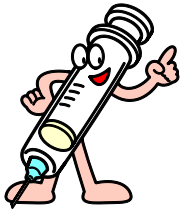
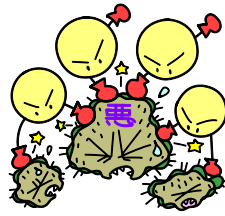
院内感染対策

最近、多剤耐性菌による院内感染がテレビや新聞等で報道され話題となりました。そこで、当院でこのよ

うなことが起きないように、東京で行われた緊急セミナーに感染症委員会長の横井消化器科・外科診療部長が参加し、その情報を基に勉強会を行いました。多くの職員が参加し、正しい知識や行動を学び、院内感染防止に取り組んでいます。



講師：横井消化器科・外科診療部長



多剤耐性菌Q&A

多剤耐性菌とは？

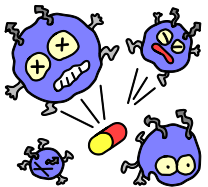
多剤耐性菌は一言で言うと抗菌薬（抗生剤）が効かなくなった細菌のことをいいます。感染力や病気を起こす力は、一般の細菌と同じですが、多剤耐性菌により感染症にかかると、治療が難しくなります。

健康なら大丈夫なの？

健康な方であれば多剤耐性菌が体の中に入ったり、皮膚や粘膜の表面についてもほとんどの人は何の症状も起こりません。

感染しているか検査をしたいのですが

熱などの症状がなければ、検査をする必要はありません。膀胱炎や肺炎などの感染症にかかり、抗菌薬等による治療をしても良くならない場合には、詳しい検査をする必要があります。



ご意見ありがとうございます

当院に設置しているご意見箱に寄せられた意見の一部を紹介し、お答えさせていただきます。

ご意見

私は1人目をこの市民病院で出産しましたが、2人目のときは産科がなくなり、里帰り出産ができず残念でした。ぜひ3人目の子は市民病院で産みたいです。産科を早くお願いします。

回答

当院では平成18年3月末に産婦人科医2名が退職し、常勤医師が不在となったことにより、お産ができない状態となりました。以後、医師1名の採用により婦人科、妊婦検診は再開させていただきましたが、お産ができない状態は続いています。

なお、新城市では来年6月に浜松市にある聖隷三方原病院の院内助産所の産科オーブンシステムを利用して長篠地区に助産所を開設します。助産に関する業務、母子保健に関する相談、健康指導等を行ってまいります。

まだ市内でお産はできませんが、1日でも早くお産ができる体制を確立するよう努めます。